

生島嗣

ぶれいす東京理事兼代表

1995 年からぶれいす東京の職員となり、2012 年より代表を務める。相談員（社会福祉士）として、数人の相談員とともに年間 500 人を超える HIV 陽性者、パートナー、家族からの相談を受けている。研究活動としては、HIV 陽性者の社会生活、就労、薬物使用も含むメンタルヘルス、男性同性間の予防啓発などをテーマにしている。現在の主な役職は、厚生労働省エイズ動向委員会委員、日本エイズ学会理事、東京都エイズ専門家会議委員、財団法人友愛福祉財団理事、エイズ予防財団同性愛者等の HIV に関する相談・支援事業推進協議会委員、新宿区 AIDS/HIV 関係機関ネットワーク連絡会委員、東京障害者職業センター雇用サポート事業登録専門家など。第 31 回日本エイズ学会（2017/東京）では会長を務めた。